

# 【事例発表資料】多面的機能支払交付金の取組状況

## 1. 組織の概要及び取組事例

活動組織名	八宮地区環境資源保全会			市町村名	白石市			
取組開始年度	19 年度～	構成員	農業者	147 名				
			非農業者	49 名				
			団体	4 団体 <small>(主な団体) 農業生産組合・子ども会・婦人会</small>				
認定農用地面積	田	85.6 ha	畑	19.8 ha	草地	- ha	計	105.4 ha
平成 26 年度 交付額	農地維持支払交付金			2,965 千円				
	資源向上支払 (共同活動)			1,755 千円				
	資源向上支払 (施設の長寿命化)			千円				
② 地域の概要	本地区は白石市の北部に位置し、農用地は標高 50～400mの中山間地域に散在している。							
② 活動目標と 実践	組織は 4 つの自治体と法人化している生産組織と連携しながら、農用地及び農業用施設の保全・維持管理を行っている。							
	(1) 地域環境を整備し農村作りを目指す。 ・用水路・農道等の整備・・・従来より実施 ・4 地区花作り運動の展開・・・集会施設・こけし村・農道等周辺 ・次世代 (子供達) と 自然を楽しむ運動の展開・・・水生生物観察会、環境浄化ポスターの掲示							
	(2) 全戸参加型作業の実施 ・全戸当番制により、年間活動スケジュールを設定し、当地域の環境整備を図る							
③ 今後の課題	(3) 遊休農地の防止 ・年度毎に優先順位を決め荒廃農用地の発生を防止する ※平成 24 年度 ひまわり畑に転換 30a ※平成 25 年度 ひまわり畑に転換 10a はす田に転換 15a ※平成 27 年度 はす田に転換 15a							
	(1) 農用地の荒廃化を防止する対策については、ひまわり畑・はす田に転換しているが 1 年目の雑草は多発するため、その処理に苦慮している							
	(2) 農業の高齢化が進んでいる現況の中で、地域環境を維持するためには老若男女参加型「たすけあい運動」を推進したい (3) 新たな企画としてトンボ・ホタルの里作りを検討したい							

## 2. 取組の写真



① 草刈り作業



② マリーゴールド・サルビアの植栽



③ 子供会を招き水生生物観察会



④ 環境浄化ポスターの掲示



⑤ ひまわりの植栽



⑥ はす田の状況